

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 博物館収蔵品データベース等システム管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県博物館 総務部管理調整 電話番号：0575-28-3111 (内 250)

E-mail：c21804@pref.gifu.jp

1 事業費 643 千円 (前年度予算額：715 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	715	0	0	0	0	0	0	0	715
要求額	643	0	0	0	0	0	0	0	643
決定額	643	0	0	0	0	0	0	0	643

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県民の方々に、博物館収蔵品を活用した学習機会の提供や学芸員の調査・研究のための資料情報管理が行えるようにするとともに、博物館収蔵品に関する情報資産の管理や県内の地質情報等をインターネットでの公開等にかかるシステムの運用を行います。

また、「Web版岐阜県地質図」の管理・運用を行い、県民の生活の基盤となる地質情報を発信することで、豊かな「ふるさと岐阜」の自然環境の基盤となる県内の地質情報をわかりやすく提供します。加えて、岐阜県における主な災害や環境保全、産業振興、教育、観光に活用できる県内の地学情報を提供します。

(2) 事業内容

○収蔵資料管理システムの運営

- ・人文・自然が所蔵する収蔵品のデジタルデータを岐阜県博物館収蔵品データベースへ入力する。
- ・岐阜県博物館収蔵品データベースを利用した学芸員の業務効率化のための研修等を実施する。

○岐阜県博物館ホームページの運営

- ・閲覧者が興味関心を持てるように岐阜県博物館の最新情報を発信する。

○Web版岐阜県地質図

- ・岐阜県内の地質や、災害や環境保全、産業振興、教育、観光などに活用できる地質に関わる様々な情報を提供する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	66	プリンタトナー A4カラーレーザー専用上質普通紙(帳票用)
使用料	577	サーバーレンタルサービス(30G)、収蔵品データベースシステム、公開用サーバーシステム(地質図)
合計	643	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県民の方々に博物館収蔵品を活用した学習機会の提供や学芸員が調査・研究に利用する情報資産の管理や県内の地質情報等の発信を行うために、収蔵品データベースシステム及びインターネットでの公開をします。また、博物館ホームページの情報更新を毎月行います。さらにWeb版岐阜県地質図を災害や環境保全、産業振興、教育、観光に活用できるように、最新の調査・研究をもとにした県内のあらゆる地質に関する情報を発信することで、常に新しい博物館としての情報を提供します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
インターネットでの公開データ数	0件 (H22)	500件 (H29)	550件 (H30)	551件 (R1)	585件 (R6)	94.1%
ホームページ更新回数	6回 (H22)	24回 (H29)	24回 (H30)	72回 (R1)	100回 (R6)	72.0%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（1）収蔵資料管理システムの運営

- ・収蔵品データベースへの1件ごとの詳細な資料項目の入力を継続。（通年）
- ・学芸員の業務効率化のための研修会を実施。（5月～9月までに1回実施）
- ・収蔵品公開研修会を実施。（12月～3月までに1回実施予定）
- ・収蔵品データベースを利用した出入庫管理の徹底。

（2）岐阜県博物館ホームページの管理・運営

- ・閲覧者が興味関心を持てるように最新情報を提供。（通年）継続。
- ・ホームページにおける催し物の申込み受付の利便性を向上。

（3）Web版岐阜県地質図の管理・運営

- ・災害や環境保全、産業振興、教育、観光に活用できるように、県内の地質に関する情報を発信。

(前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

収蔵品データベースへの1件ごとの詳細なデータ入力及びインターネットでの資料データの公開を進めた。今後も入力及び資料データの検討を継続することで目標値を達成することが期待できるようになった。

また、博物館ホームページの表現力の向上と博物館最新情報の提供、催し物の申込みの利便性の向上により、催し物を中心とした来館者数が増加した。

収蔵品データベースの利便性の向上で業務の改善が見込まれることや博物館ホームページやWeb版岐阜県地質図での情報提供を継続することで、県民の学習機会の増加や来館者数の増加が期待できる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	博物館資料である収蔵品は重要な地域資産も含まれており、その収蔵品の管理を行う上で収蔵品データベースは必要不可欠である。また、博物館学芸員の業務の効率化は地域資産等の収蔵品を確実に守護することにつながるため、この事業の必要性は高い。また、地質情報は県民の生活の基盤となることに加え、災害や環境保全、産業振興、教育、観光などに必要な情報の1つである。 このように、県民に広く博物館や県内の地質情報等を認知してもらうため、この事業は必要性が高い。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	収蔵品の詳細データや県内の地質情報の更新及びインターネット公開用の資料データの検討が進んでおり、県民への情報検索にかかる利便性が向上した。学芸員の利用度が上がり事業の効果が現れている。また、博物館ホームページや県内の地質にかかわる様々な情報を見ての来館や講座等の申込みや県内の地質に関する情報提供が増加しており、事業の効果が現れている。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	資料管理を紙媒体で行っていた時の資料検索に比較して本事業のシステムを用いた検索を行った場合、年間で762時間の短縮ができ経費の削減につながった。

	ホームページにおける催し物の申込みの利便性の向上により、申込み時における不具合が解消され、受付に関する業務の効率化につながった。
--	--

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>収蔵資料データベースが完成すれば、インターネットでの全資料情報の公開が可能となる。国の分野横断統合ポータルへも情報提供ができ、県内施設として国と地方をつなぐ役割を果たす。膨大な資料のデータベースを完成させる作業と併行して県民の方々に有益な情報を少しでも多く公開できるよう業務の効率化が課題である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>県民のニーズである収蔵品情報の公開を行うためには、収蔵品の詳細データの完全入力やインターネット公開用の資料データの検討が必要であり継続すべき事業である。また、博物館ホームページによる情報提供やWeb版岐阜県地質図による県内の地質全般の情報を提供するサービスによって来館者数が増加していることから継続すべき事業である。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	